



募集要項 2027 年春期 海外研修(引率型スタディツアー)

Dr. Yanga's Colleges, Inc.(フィリピン)

Study & Exchange Tour (BUKLOD) 2027

フィリピン・マニラ首都圏の北、ブラカン州ボカウエにある Dr. Yanga's Colleges, Inc.(DYCI)を訪問する 1 週間のスタディツアーです。本学の海外学生交流コーディネーターが全行程を引率し、DYCI での大学訪問・学生交流・ロボットミュージアム訪問に加え、マニラ貧困地区の視察(NPO 法人 Action)や近隣エリアへのエクスカーションを通じて、途上国の「今」を肌で感じます。現地の滞在費とプログラム費用は大学が負担するため、自己負担は航空券代と海外旅行保険代のみ(計 6-7 万円程度)。初めての海外や初めての途上国という学生はぜひ参加ください!

渡航期間	**2027 年 3 月 14 日(日)日本発 ～ 3 月 20 日(土)日本着 6 泊 7 日** ※東京(羽田または成田)←→マニラ(ニノイ・アキノ国際空港) ※航空便は調整中
主 催	電気通信大学・Dr. Yanga's Colleges, Inc.(DYCI)
研修内容	平日 5 日間で以下のプログラムを実施予定(詳細調整中) ① マニラ都市貧困地区の視察(NPO 法人 Action) ② DYCI での国際交流活動(表敬訪問、ロボットラボ訪問、大学視察、学生間交流) ③ 自然公園 Doña Remedios Trinidad 訪問
滞在形態	DYCI 近隣の宿泊施設(Airbnb)を大学が借り上げ、参加者と引率教員で滞在 ※DYCI 近郊にはホテルがなく、民家等を借り上げるため、サークル等の合宿に近いイメージです。 ※部屋割りは男女別を予定
引 率	**あり** 本学教員(海外学生交流コーディネーター)が全行程を引率
参加費用	**自己負担 6-7 万円程度**(往復航空運賃、海外旅行保険 4060 円) **※現地の滞在費およびプログラム費用は大学が負担します。** ※航空運賃は為替レートや燃油サーチャージ等により変動する可能性があります。 ※食費は自炊を想定し、費用は自己負担です。
募集人数	最大 10 名程度
応募資格	本学の学域生・大学院生 帰国後も DYCI およびフィリピンとの国際交流活動に積極的に参加する意欲のある方
単 位	海外研修 I (1 単位) ※事前オリエンテーション(安全対策・現地事情)および帰国後の報告会への参加必須
申込期間	**2026 年 11 月 6 日(金) 12:00～ 11 月 20 日(金)24:00** ※応募多数の場合は、志望理由等により選考を行う可能性があります。
申込方法	Google フォームで申込
説 明 会	**2026 年 11 月 12 日(木) 16:30-18:00 E-Nexus 3F 会議室** 個別相談も歓迎します。
そ の 他	・パスポートを持っていない人は、各自で申請準備を進めてください(フィリピン入国時に残存有効期間 6 か月以上が必要)。 ・フィリピン入国にはオンライン入国登録「eTravel」が必要です(到着 72 時間前から登録可・無料)。登録方法は事前オリエンテーションで案内します。 ・本学の指示に従わない場合等には、研修参加を取りやめていただくことがあります。 ・感染症、治安の悪化、自然災害、本学の方針等に基づき、本プログラムを中止・変更する場合があります。

研修先紹介 Dr. Yanga's Colleges, Inc.(DYCI)

DYCI は、マニラ首都圏から北へ約 30km、ブラカン州ボカウエに位置する私立の教育機関です。1950 年に中等教育機関として創立され、現在は幼稚部から小・中・高校(K-12)、大学までを擁する一貫校として地域の教育を担っています。ロボティクス教育で知られ(受賞歴多数)、キャンパス内にはロボットミュージアムもあります。



2026 年 9 月に本学の教員・学生が DYCI を訪問し、学生・教職員との交流や講演、地域コミュニティ訪問などの BUKLOD(※)2026 を実施しました。2027 春ツアーはその成果を受けてより大規模に実施します。

※BUKLOD(タガログ語で「絆」を意味する)

プログラムの特色

★完全引率で、初めての海外・途上国でも安心

出発から帰国まで本学教員が同行し、空港での手続き、現地での移動、生活面までサポートします。

★「合宿」スタイルの共同生活

DYCI 近郊にホテルがないため、AirBNB で宿泊施設を借り上げて参加者全員で滞在します。人数が多い場合は、複数物件を借り上げる可能性があります。仲間と寝食をともにし、毎日の体験を振り返る時間も大切にします。食事はそれぞれのキッチンで自炊が基本です。

★教科書では分からない現実に触れる

マニラの都市貧困地区の視察では、NPO 法人 Action を訪問し、急速な経済成長の陰にある格差や、それに向き合う現地の人々の取り組みを自分の目で見て、自分に何ができるかを考えます。

★英語で交流する

フィリピンは英語が公用語の一つです。DYCI の学生とは英語でコミュニケーションをとります。英語に自信がなくても、伝えようとする姿勢があれば大丈夫です。

★帰国後も続く双方向の交流

今後、DYCI との双方向の学生間交流が見込まれています。参加者には、帰国後も DYCI およびフィリピンとの国際交流に積極的に関わることを期待しています。



スケジュール(予定)

日程	内容
3 月 14 日(日)	東京発 → マニラ着。宿泊施設へ移動
3 月 15 日(月)	DYCI 表敬訪問、キャンパスツアー、DYCI 学生との交流
3 月 16 日(火)	ロボットミュージアム特別セッション、観光・ホテル学部の訪問
3 月 17 日(水)	マニラ都市貧困地区の視察(NPO 法人 Action)
3 月 18 日(木)	自然公園 Doña Remedios Trinidad 訪問
3 月 19 日(金)	協会・歴史博物館訪問、Rap up
3 月 20 日(土)	マニラ発 → 東京着。東京の空港で現地解散

※内容・順序は調整中であり、変更となる場合があります。
※研修後に日本に帰国せずフィリピン旅行等に行っても構いません(マニラ空港で現地解散)。

気 候

3 月のフィリピンは乾季にあたり、雨はほとんど降りません。一方で日中は 30℃を超える暑さとなり、平均最高気温は約 33℃、平均最低気温は約 23℃です。日差しが強いため、帽子・日焼け止め・こまめな水分補給など熱中症対策が必要です。

■DYCI から修了証明書が発行されます。
■本案内は現時点での概要であり、今後変更となる場合があります。
■最新情報は国際教育センターのウェブサイトを参照のこと(URL 追って掲載)

【問い合わせ先】
留学相談予約
(対面・ZOOM)

メール相談
abroad@fedu.uec.ac.jp